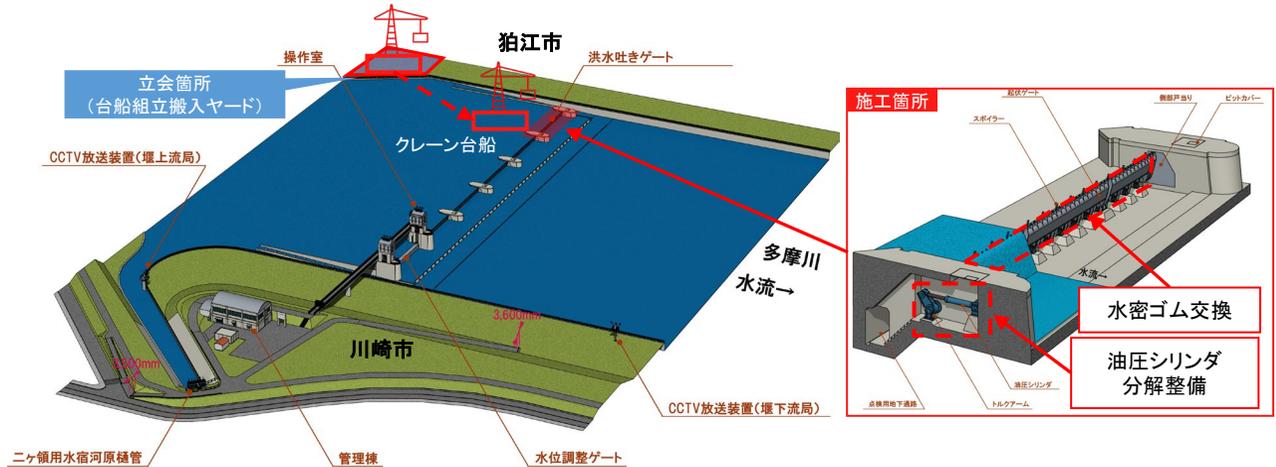


工事着手前における河川環境団体との立会 (R5多摩川二ヶ領宿河原堰洪水吐ゲート設備修繕工事)

- 多摩川中流部には複断面河道で交互砂州が分布し、一部礫河原には河原環境に生育する種が生息しています。
- 令和6年12月から実施する二ヶ領宿河原堰5号洪水吐ゲート設備の修繕にあたり、クレーン台船の組立及び搬入ヤード周辺の植生について、令和6年11月7日に河川環境団体との立会を実施しました。
- 工事の施工にあたっては、「多摩川の自然を守る会」等の河川環境団体の方々のご意見をお聴きしながら、治水と環境の調和した川づくりを進めています。



■ 工事内容

① 水密ゴム交換

転倒堰の間からの水漏れを防止のため交換します。交換によって、上流の湛水面を維持し、上流の河川環境も保全します。

② 油圧シリンダ分解整備

洪水時に確実にゲート操作をするため、油圧シリンダを分解整備をします。上流の湛水面を維持しつつ交換するため、クレーン台船を用いた施工をします。

■ 環境団体との調整内容

台船を搬入する際に湿地部分に立ち入らないことで施工を了承頂いた。



施工に伴う環境への影響などについて意見交換を行っています
※写真は現地での意見交換の様子



修繕にあたり油圧シリンダ等の搬入にクレーンが必要となることから、水面に台船を設置します
※写真は3号ゲート施工時